〈　解答　〉

一　⑴　哀（れ）　　　　⑵　歓迎

　　⑶　衝撃　　　　　　⑷　弁護

　　⑸　せんせい　　　　⑹　ひくつ

　　⑺　か（かる）　　　⑻　いおう

　各２点×８＝16点

二　問一【エ】

　　問二　ａ　胸ビレと腹ビレ

　　　　　ｂ　四肢動物の肢の骨のパターン

ｃ　腕（あるいは脚）を持つ魚

　　問三　曲げ

　　問四　Ｂ　カ　　Ｃ　オ

問五　ウ

　　問六　⑴　なんだか変な話

## ★問六　⑵　例　干上がった池から別の池に移ったり水中の捕食者から逃れたりするために肢が進化したというが、それなら大人だけでなく子供にも肢があるべきなのに実際は大人にしか肢がないという点が、つじつまが合わないから。

〈採点基準〉

①仮説の、干上がった池から別の池に移ったり水中の捕食者から逃れたりする目的で肢が進化したという内容【２点】

②子供には肢がないという内容【２点】

③（①と②の）つじつまが合わないという内容【２点】

　　　〈正答例〉

まだ肢がない子供は池の移動も捕食者から逃れることもできないので、二つの仮説のいずれも肢がある大人にしか通用するものではなく、子供に肢がないことの説明にはなっていないため、納得できる説とは言えないから。

〈減点例〉

水中には恐ろしい捕食者がいたので、それらから逃れるために浅瀬に、そして陸上へと進出するために肢が進化したのだという仮説は、子供が捕食者に食べられ放題になってしまうのでおかしいから。（「二つの仮説に共通する」という条件を満たしていない）

　　問七　Ｄ　エ　　Ｅ　オ

問八　ａ　眼が横

ｂ　エラも

　　問九　イ

問六⑵　６点

他　各３点×９＝27点

（問五　問七　問八　は完答）

三

★問一　例　ドカが交通事故を起こしたのではないかと思っているとき。

〈採点基準〉

　　　①ドカという具体的な内容【３点】

②（①が）交通事故を起こしたのではないかという内容（「交通事故を起こした人物として疑いたくないという内容」でも可）

【３点】

　　〈正答例〉

交通事故の話からドカのことではないかと不安を感じているとき。

〈減点例〉

交通事故を起こしたトンタマの生徒がいるのかと考えているとき。（①なし）

★問二　例　ドカが交通事故を起こしたのではないと思いたい気持ちがあり、ドカ以外に欠席者がいれば、ドカが事故を起こしていない可能性も出てくるから。

〈採点基準〉

　①ドカが交通事故を起こしたのではないと思いたい気持ち

（「ドカが交通事故を起こしたのかどうかを明らかにしたい気持ち」でも可）【２点】

　②ドカ以外の欠席者がいるという内容【２点】

　③（②の）該当者が事故を起こした可能性があるという内容【２点】

〈正答例〉

ドカが交通事故を起こしたと決まったわけではないので、他の欠席者を調べて、ドカ以外に事故を起こした可能性のある人がいるかを知ろうとしたから。

〈減点例〉

ドカが交通事故を起こしたのかどうかを明らかにしたい気持ちがあり、もしかしたらドカ以外にも欠席者がいるかもしれないと思いついたから。（③なし）

問三　ウ

問四　イ

問五　ア

問六　イ

問七　イ

問八　僕たちは、

問九　オ

問一・問二　各６点×２＝12点

他　各３点×７＝21点

四　問一　ア

問二　こえをば

★問三　例　自分の死に際に付きそってもらいたい

〈採点基準〉

　①自分の死に際に付きそうという内容（必須）

　②（①を）してほしいという内容

〈正答例〉

もどってきて死に際に付きそってほしい

〈減点例〉

自分のそばにもどってきてほしい（①なし不可　０点）

※（②なしは−1点）

問四　香

問五　ａ　父母

　　ｂ　家

　　ｃ　屋

問六　オ

各３点×６＝18点

（問五　は完答）